



平成 25 年 9 月 20 日
第五管区海上保安本部

のり養殖施設への「乗揚」海難の防止について

～9月から翌年5月まではのり網が設置されます～

特に「プレジャーボート」の船長さんは、注意が必要です

関係機関が連携して事故防止を推進しています。

- 大阪湾・播磨灘で、のり網への乗揚げ海難が **多発！** しています。
- この3年間で20隻、昨年8隻で **“増加”** 傾向にあります。

1. のり網への乗揚海難の状況

毎年9月から翌年の5月にかけては、大阪湾及び播磨灘で海苔養殖施設が設置されるが、のり網への乗揚海難が3年間で20隻発生。

去年は8隻で、“増加”傾向。

○ 20隻中の18隻がプレジャーボート(全体の90%)

※プレジャーボートの内訳(モーターボート13隻、ヨット5隻)】

のり網への乗揚げ状況



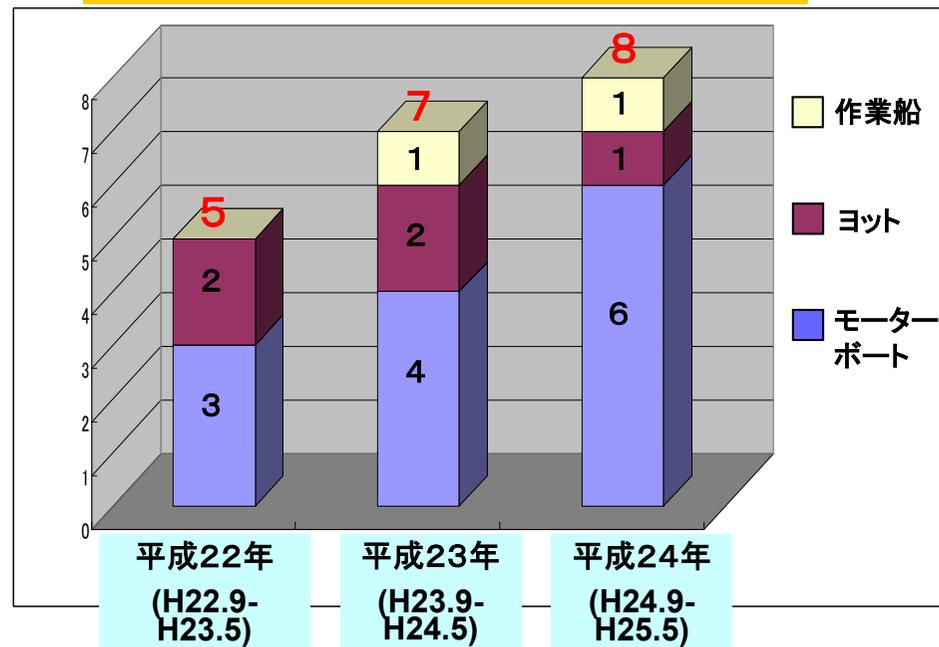
乗揚げ船舶

のり養殖網関係船舶

のり網への乗揚海難発生状況(船種別)

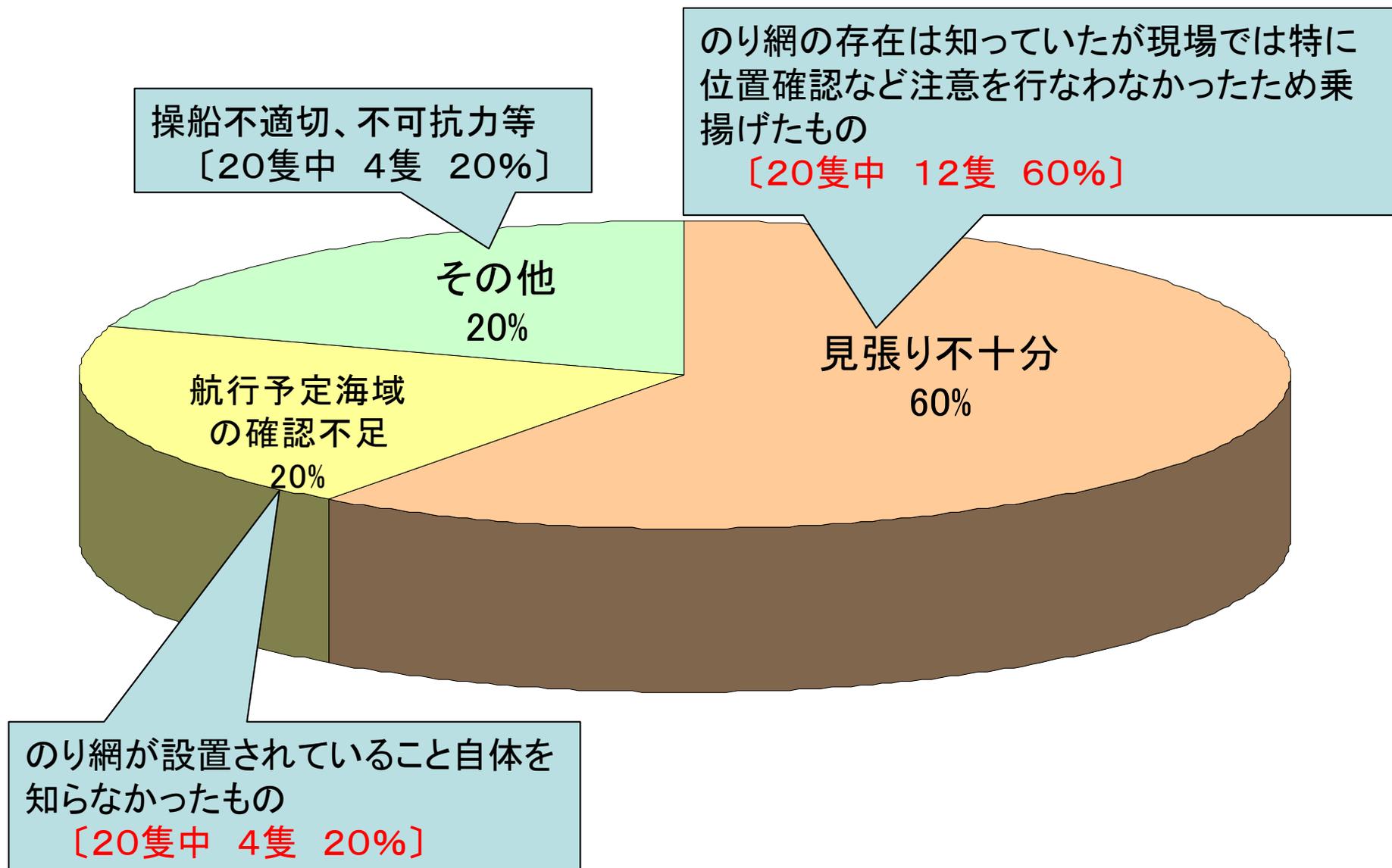
過去3年の海難発生隻数 計20隻

単位: 隻



乗揚げ海難の原因

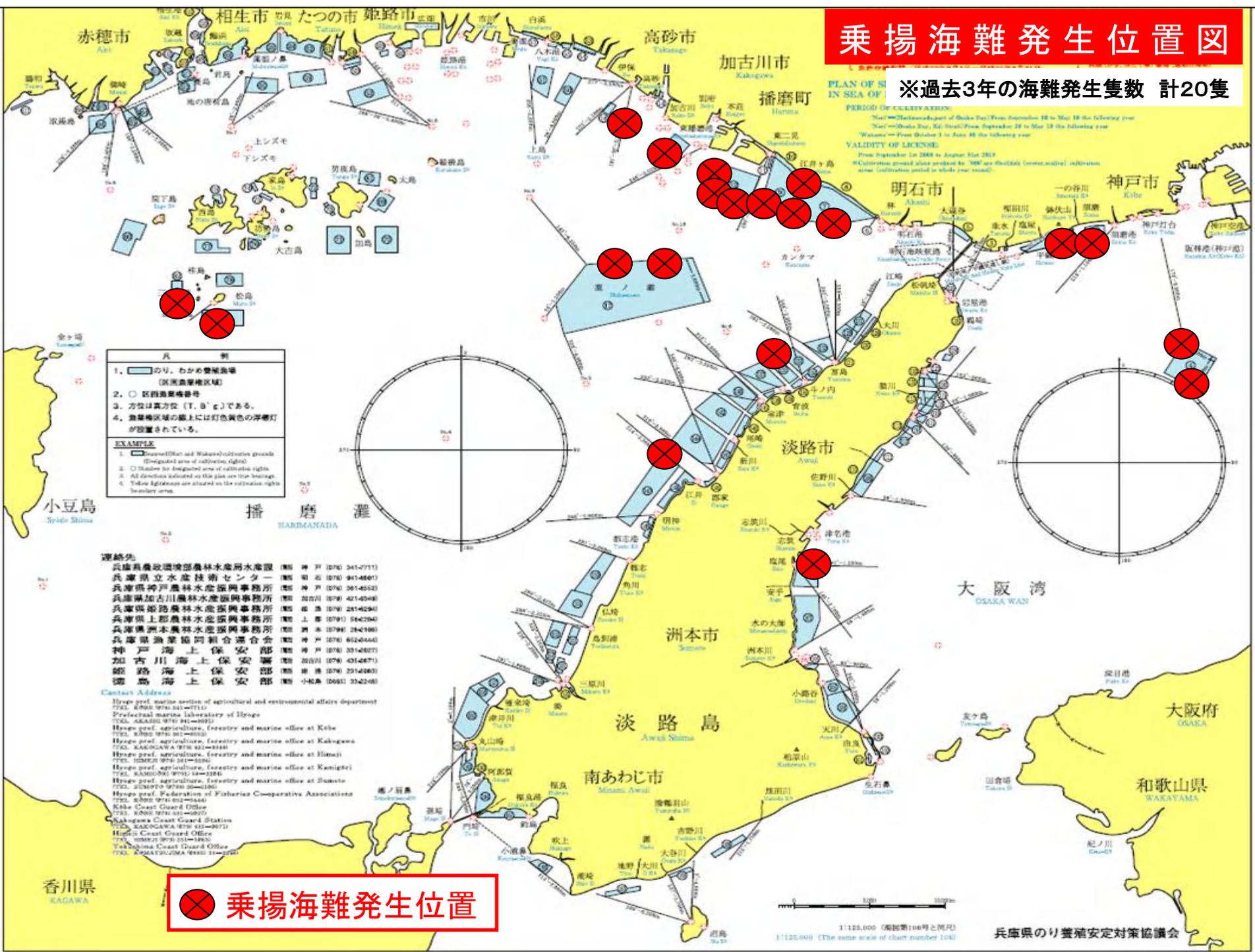
※過去3年間(H22年～H24年)に発生した20隻の海難を基に分析



乗揚海難発生位置図

※過去3年の海難発生隻数 計20隻

PLAN OF SEA OF
 PERIOD OF SALVAGE ACTION:
 (North) - (Shikano) part of Osaka Bay From September 18 to May 18 the following year.
 (South) - Osaka Bay, Kii Strait From September 18 to May 18 the following year.
 (Western) - From October 1 to June 30 the following year.
 VALIDITY OF LICENSE:
 From September 1st 2008 to August 31st 2013
 (A) Cultivation ground shall consist of "M" and "M" (M: Mackerel) cultivation areas (Cultivation period is whole year round).



- 凡 例**
1. のり、わかめ養殖海域 (区画養殖地域) (Cultivation ground of nori and wakame)
 2. 区画漁業権標記 (Designated area of cultivation right)
 3. 方位は真方位 (T. B. g.)である。 (Direction is true bearing)
 4. 漁業権区域の線には灯色黄色の浮標灯が設置されている。 (Yellow lightbuoys are situated on the cultivation right boundary areas)
- EXAMPLE**
1. (Cultivation ground of nori and wakame) cultivation grounds (Designated area of cultivation right)
 2. (Markings for designated area of cultivation right)
 3. All directions indicated on this plan are true bearings
 4. Yellow lightbuoys are situated on the cultivation right boundary areas

連絡先

兵庫県政環境部農林水産用水産課	TEL 079 341-2711
兵庫県立水産技術センター	TEL 079 941-4801
兵庫県神戸農林水産振興事務所	TEL 079 261-4933
兵庫県加古川農林水産振興事務所	TEL 079 421-4948
兵庫県姫路農林水産振興事務所	TEL 079 281-4930
兵庫県上郡農林水産振興事務所	TEL 0791 564-2940
兵庫県洲本農林水産振興事務所	TEL 07981 284-1060
兵庫県漁業協同組合連合会	TEL 079 612-6660
神戸海上保安部	TEL 078 331-4071
加古川海上保安部	TEL 079 431-4071
姫路海上保安部	TEL 079 251-4060
淡路島海上保安部	TEL 0851 324-2481

Contact Address

Hirogo pref. marine section of agricultural and environmental affairs department
 TEL. 0793 341-2711
 Prefectural marine laboratory of Hirogo
 TEL. 0793 941-4801
 Hirogo pref. agriculture, forestry and marine office at Kobe
 TEL. 0793 261-4933
 Hirogo pref. agriculture, forestry and marine office at Kakogawa
 TEL. 0794 421-4948
 Hirogo pref. agriculture, forestry and marine office at Himeji
 TEL. 0791 564-2940
 Hirogo pref. agriculture, forestry and marine office at Kamigiri
 TEL. 07981 284-1060
 Hirogo pref. agriculture, forestry and marine office at Sumoto
 TEL. 07920 612-6660
 Hirogo pref. Federation of Fisheries Co-operative Associations
 TEL. 0791 612-6660
 Koba Coast Guard Office
 TEL. 078 331-4071
 Kakogawa Coast Guard Station
 TEL. 0794 431-4071
 Himeji Coast Guard Office
 TEL. 0791 251-4060
 Takahama Coast Guard Office
 TEL. 0851 324-2481

乗揚海難発生位置

1:125,000 (南緯第106号と西経)
 1:125,000 (the same scale of chart number 106)

兵庫県のり養殖安定対策協議会

2. のり網への乗揚げ防止にかかる取り組み

(1)【情報提供及び周知活動】

① のり養殖漁場図及びリーフレット(資料1)の配布

各海上保安部署にて、マリーナ・プレジャーボート関係者等に配布して周知・指導を実施



② のり養殖漁場図のホームページ掲載による周知

MICSの海上安全情報

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/anzen/0500_20120906220124960_WE_209_NOR.html

神戸海上保安部

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/kobe/> (各保安部等へリンク)

大阪湾海上交通センター

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/osakawan/>

③ 兵庫県内のり生産業者に対する講習会の実施

のり養殖施設区画の明示方法、自主警戒、海難救助の際の協力依頼。



(2)【関係機関との連携】

① 兵庫県農政環境部農林水産局水産課との打合せ会の開催

【のり網への乗揚海難防止対策を検討】

- ・のり養殖施設に関する設置状況の効果的な周知活動の推進
- ・のり養殖施設への乗揚海難の防止にかかる安全指導活動の推進
- ・のり養殖施設に関する設置方法、区画明示方法、資機材等の改善
- ・兵庫県農政環境部農林水産局水産課との合同パトロールの実施

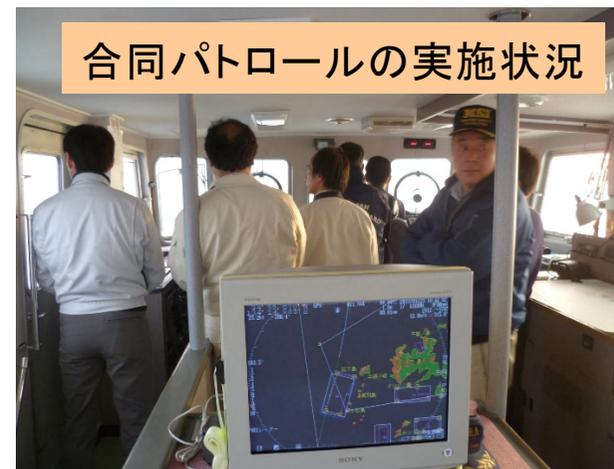
視認性の向上を
図る

のり養殖施設の設置状況を確認するため、県水産課及び
関西小型船安全協会と合同で海上視認調査を実施。

➡ 本書末尾に、合同パトロールに同乗しての取材を募集しています。

② 兵庫県内のり生産業者に対する講習会の実施

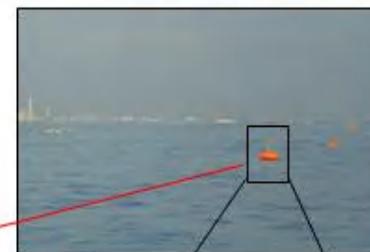
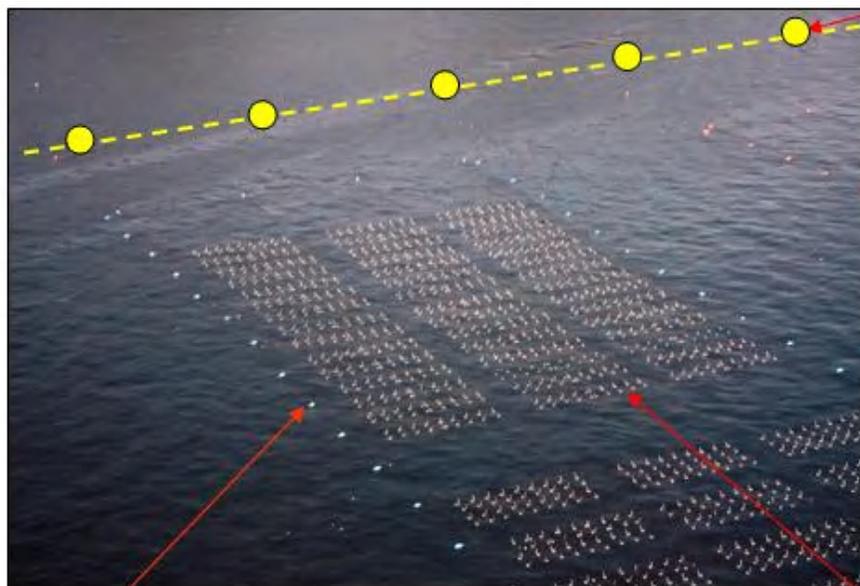
のり養殖施設区画の明示方法、自主警戒、海難救助の際の協力依頼。



「のり網、灯浮標の設置途中、撤去途中は特に注意してください。」

毎年9月から翌年5月頃まで養殖漁場ののり・わかめ養殖施設が設置されます。
養殖漁場の周囲には、灯浮標（黄色・白色等の灯火）が設置され、区画を明示しています。

養殖漁場周囲及び漁場内は、灯浮標（ブイ）及び養殖施設を固定するロープ等が多数展張されており、近づくと絡網するおそれがありますので、十分注意して下さい。



のり網設置区画を明示するためのブイ（一例）



のり網設置区画内に設置されたボンデンの間にはロープが張られており、**航行できません。**



ロープ